

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

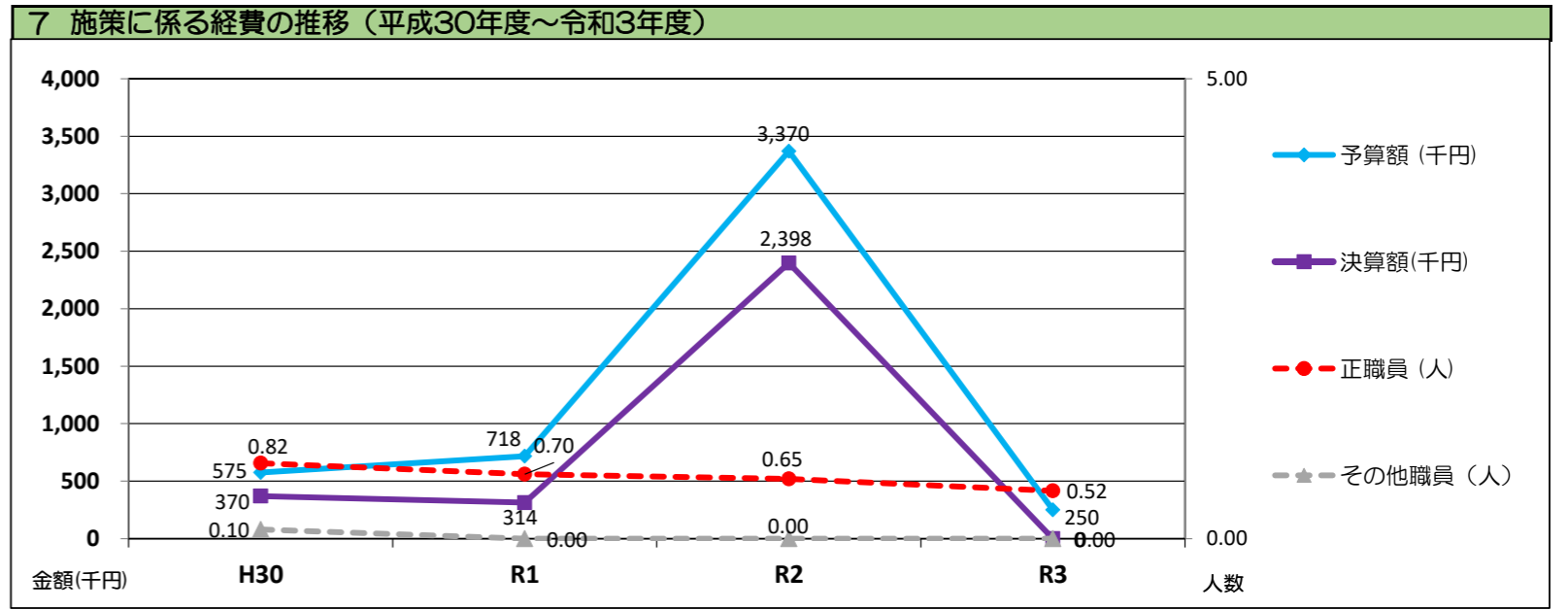
1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	1 市民協働・参画の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	地域振興課
関係課	総務課、秘書広報課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
3,946	0	0.52	0.00	3,946	73

3 施策の目的
 市民と市が、それぞれ持っている知恵、情報、人材及び能力等を提供・分担し合いながら、市民と行政が一体となった協働によるまちづくりを進めます。
 また、市民活動の活性化により、自立性の高い地域社会を実現するとともに、活動団体との協働体制を強化することで市民サービスの向上を図ります。

4 前期基本計画（平成30年度～令和4年度）に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
市民活動団体等への支援件数(件)	目標値		72	75	78	81	84	87	A	
	実績値	69	73	79	84	84	84			
羽生市附属機関のうち、公募委員を採用している団体の割合(%)	目標値		16.7	16.7	17.0	18.0	19.0	20.0	S	
	実績値	16.7	16.7	15.8	12.3	11.5	24.5			
市内NPO法人の数(団体)	目標値		15	16	17	18	19	20	B	
	実績値	15	16	17	16	17	17			



5 これまでの取り組みと評価（平成30年度～令和3年度）	
(1) まちづくり自治基本条例及び協働のまちづくり指針の運用	評価 A
○「羽生市まちづくり自治基本条例」及び「羽生市協働のまちづくり指針」の普及・啓発。 ・市HPへの掲載 ・情報公開室へ閲覧資料の配置 ○羽生市まちづくり自治基本条例の改定等必要な措置（令和元年度実施）。 6月…条例見直しに関する各課意見調査の実施、見直しに関する方向性の決定。7月…識見者から意見を伺う。 11月…市職員を対象に講義を開催。12月…条例改正を行わない旨を決定	
(2) 市民活動の活性化	評価 A
○市民活動応援補助金事業 ・市民活動を活性化させるため、地域社会における公益性・公共性の高い自発的な取り組みに対し補助金を交付。 実績：H30年度…5団体（計370,000円） R1年度…5団体（計242,000円） R2年度…0団体 R3年度…0団体（ただし、R2年度は3団体、R3年度は3団体から申請があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業未実施のため、補助金交付無） ○ボランティア団体登録制度の運用（ボランティア団体登録数：34団体） ・ボランティアの活動内容等の情報を提供してもらい、その活動内容等を市HPなどで紹介。	
(3) 市民参画システムの確立と運用	評価 A
○市民の意見を市政に反映させるため、パブリックコメント制度の運用（H30～R3年度：23件）、市民座談会、市長メールへの返信を実施した。（R2年度のみ市民座談会は中止） ○「羽生市附属機関等の委員の公募に関する要綱」について職員への周知を図り、公募委員の積極的な活用を促す。	
(4)	評価
(5)	評価

8 課題解決に向けた取り組みと改善策（令和4年度～令和6年度）			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) まちづくり自治基本条例及び協働のまちづくり指針の運用	○「羽生市まちづくり自治基本条例」および「羽生市協働のまちづくり指針」の普及・啓発。		
(2) 市民活動の活性化	○市民活動応援補助金の交付。 ○ボランティア団体登録制度の運用。		
(3) 市民参画システムの確立と運用	○パブリックコメント制度の運用、市民座談会、市民意識調査、市長メールの実施により、市民の声を市政に反映させる。 ○市民意識調査の検討 ○感染症対策を実施した上での、市民座談会の幅広い開催方法を検討。（若年層向けなど） ○「羽生市附属機関等の委員の公募に関する要綱」について職員への周知を図り、公募委員の積極的な活用を促す。		
(4)			
(5)			

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

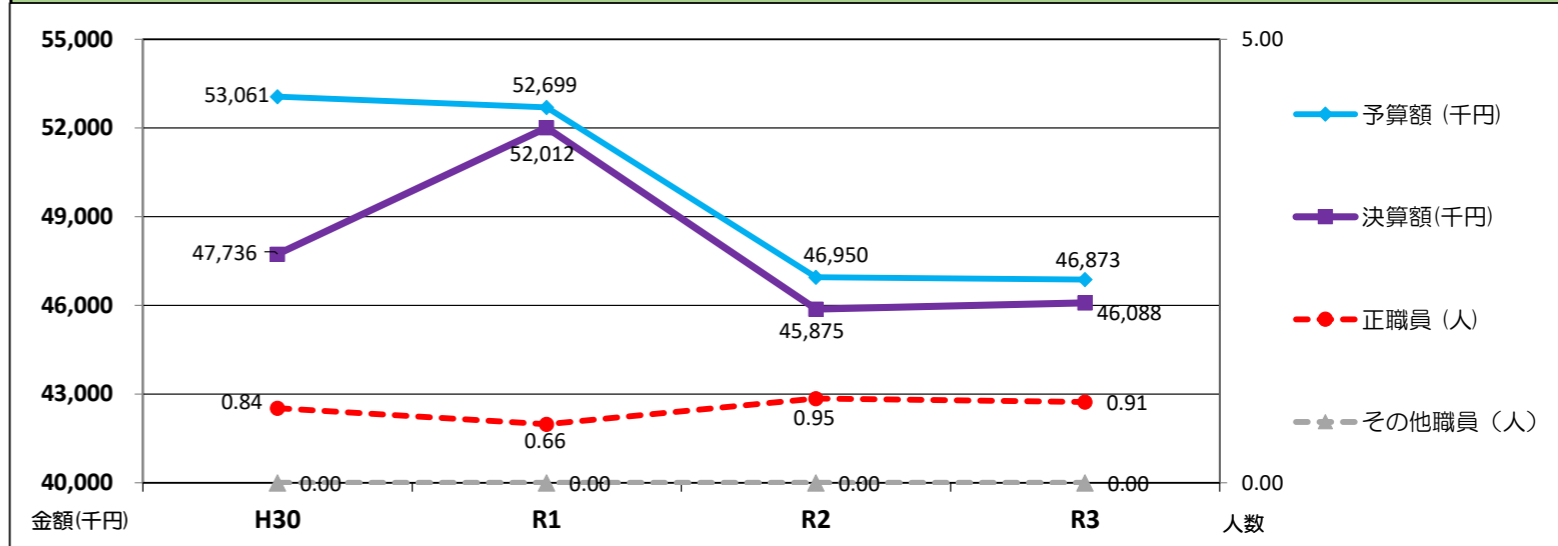
1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	2 コミュニティ支援

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	地域振興課
関係課	市民生活課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
52,993	46,088	0.91	0.00	6,905	982

3 施策の目的
自治会や地域協議会が、地域活動を主体的に展開しながら、地域のことは地域で解決できる体制をつくります。

7 施策に係る経費の推移(平成30年度～令和3年度)



4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
自治会加入世帯数(世帯)	目標値		16,805	16,844	16,883	16,922	16,961	17,000	A	
	実績値	16,751	16,805	16,790	16,850	16,833	16,794			
自治会組織数(団体)	目標値		74	74	74	74	74	74	A	
	実績値	74	74	74	74	74	74			
	目標値									
	実績値									

5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)

(1) 自治会等支援	評価	A
○住みよい地域社会の形成及び地域自治の振興を図るため、自治会活動支援事業として自治会及び自治会連合会に交付金を交付。 ○自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組む自治会連合会の2つの委員会の活動を支援。 ○自治会活動周知を図るため、「羽生市自治会連合会だより」の発行(年2回)を支援。 ○市HP内の自治会連合会コーナーに自治会関連ニュースを掲載。 ○転入者に自治会加入促進チラシを配布。 ○自治会長向け自治会活動ハンドブック及び自治会加入促進チラシの改訂(R3年度)		
(2) 地域協議会への支援	評価	A
○市内9地区の各地域協議会へ交付金を交付。 9協議会：計405,000円(R3年度)		
(3) 多文化の共生	評価	A
○外国人住民の自治会加入に関する相談受け入れ。 ○外国語版防災ガイドブック(地震が来た時の対処の仕方や市内の避難所などを掲載)の周知。 ・6カ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語)対応。 ・市ホームページに掲載、市民生活課の窓口や国際交流イベント等で配布。 ○国際交流イベント等の開催。 ○自動翻訳機の導入。(H30～R3年度)		
(4) コミュニティ施設の充実	評価	A
○地域活動センター運営事業として、各地区の地域活動を支援。また、明るく住みよい地域社会づくりを推進するための施設であるコミュニティセンターの運営及び利用促進。 ○コミュニティ助成事業(宝くじ)を活用し、自治会が使用する集会所の備品を整備。 ・実績：R1年度…1団体、2,500,000円。R2年度…1団体、2,500,000円。R3年度…2団体、4,800,000円。 ○市民の地域活動の拠点となる自治会集会所の修繕等に対し、自治会集会所整備事業費補助金(補助対象経費の1/5)を交付。 ・実績：R1年度…15自治会(計2,411,000円)。うちエアコン設置10団体。 R2年度…12自治会(計1,017,000円)。うちエアコン設置5団体。 R3年度…7自治会(計717,000円)。うちエアコン設置団体なし。		
(5)	評価	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 自治会等支援	○自治会及び自治会連合会に交付金の交付。 ○自治会連合会の広報活動、委員会活動の支援。 ○転入者へ自治会加入促進チラシの配布。	同左	同左
(2) 地域協議会への支援	○自治会の役割を補完するために、地域住民が主体で活動する各地区の地域協議会を継続して支援。	同左	同左
(3) 多文化の共生	○外国人住民からの各種相談を引き続き受け入れる(自動翻訳機の活用)。 ○順次、外国語版の資料等を作成し各種情報提供を行う。 ○国際交流イベント等の開催。	同左	同左
(4) コミュニティ施設の充実	○各地区での地域活動の拠点となる地域活動センターの運営。 ○市民の積極的な地域活動を推進するため、コミュニティ助成事業(宝くじ)の活用、自治会集会所整備事業費補助の実施、コミュニティセンターの運営。	同左	同左
(5)			

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

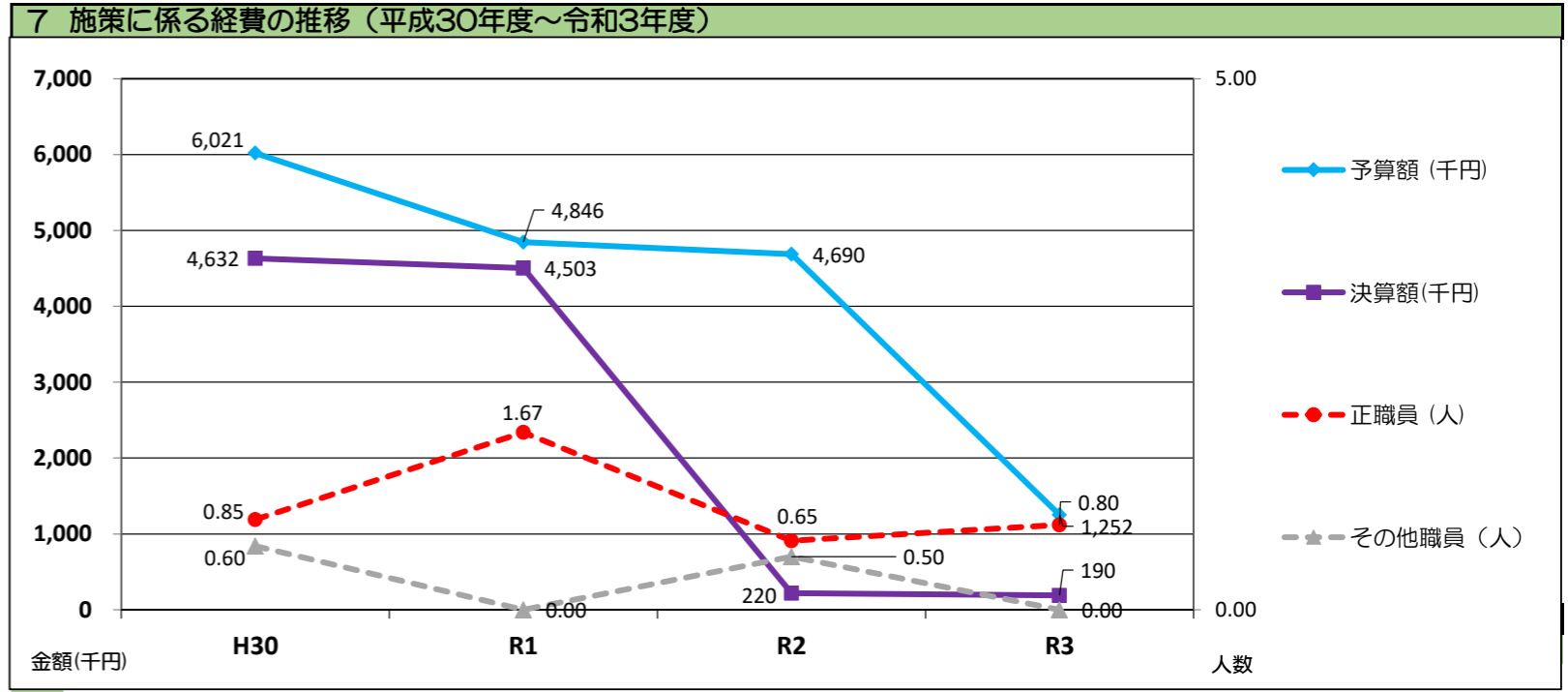
1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	3 都市交流・国際交流の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	秘書広報課
関係課	学校教育課、観光プロモーション課、商工課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
6,260	190	0.80	0.00	6,070	116

3 施策の目的
国内や外国の都市との交流を図り、他の都市の歴史・文化などへの理解を深めます。また、本市や日本の情報を発信することで相互理解を深め、グローバル社会の中で国際人としての市民の自覚を促し、他の都市の人々との交流を推進します。

4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標									
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
国際交流イベント参加者数(人)	目標値		575	576	577	578	579	580	C
	実績値	575	579	575	348	57	36		
友好都市間相互交流回数(回)	目標値		5	5	5	5	5	5	C
	実績値	5	5	4	3	1	2		
観光・経済交流都市との相互交流回数(回)	目標値		7	8	8	8	8	8	C
	実績値	7	7	6	5	1	0		
交流都市に関する情報発信回数(回)	目標値		5	6	6	6	6	6	C
	実績値	5	5	4	5	0	4		



5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)	
(1) 市民主導型の国際交流の推進	評価 B
<ul style="list-style-type: none"> ○「国際交流市民の会」の活動に対する支援 ○新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、日本語教室を開催 ○広報紙やチラシ等により広くイベントを周知(手打ちうどん、ひなまつりパーティーなど) 	
(2) 姉妹都市・友好都市との交流	評価 B
<ul style="list-style-type: none"> ○金山町・富士河口湖町との相互交流 ○バギオ市との青少年相互交流の実施。(H30中学生の派遣) ○デュルビュイ市との相互交流の実施。(H30青少年の受入。R1市民ツアーの実施) ○ミルプレー市との相互交流の実施。(H30公式訪問) ○市制施行65周年記念式典に海外来賓(上記3市)を招待 	
(3)	評価
(4)	評価
(5)	評価

8 課題解決に向けた取組と改善策(令和4年度～令和6年度)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 市民主導型の国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「国際交流市民の会」活動への継続した支援 ○新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの日本語教室開催。参加者との交流 ○広報紙やチラシ等によりイベントの周知 ○市民向け講座等の開催(語学教室・料理教室など) 	同左	同左
(2) 姉妹都市・友好都市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ○金山町・富士河口湖町との相互交流および災害時相互応援体制の継続。市民レベルでの交流を検討。 ○バギオ市との青少年相互交流実施 ○国際交流のあり方検討(姉妹都市バギオ市・デュルビュイ市、友好交流関係協定締結都市ミルプレー市) 	同左	同左
(3)			
(4)			
(5)			

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

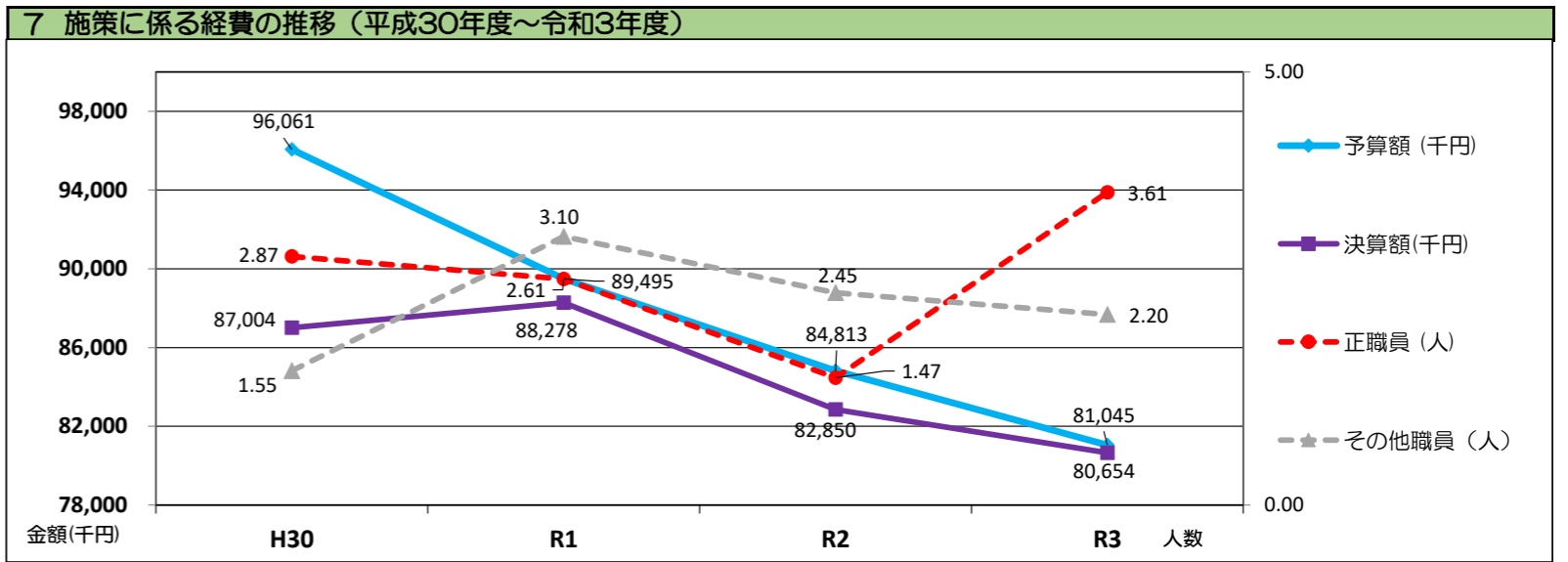
1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	4 文化の継承・振興

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	生涯学習課
関係課	秘書広報課、郷土資料館

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
111,242	80,654	3.61	2.20	30,588	2,061

3 施策の目的
郷土の歴史・伝統・文化の価値を認識し、次代に継承していきます。また、地域の特色や伝統に根ざした新しい文化を創造し、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現します。

4 前期基本計画（平成30年度～令和4年度）に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
「文化財保存管理計画」等の策定件数(件)	目標値		2	2	3	3	4	4	B	
	実績値	1	1	2	2	2	3			
文化の継承・振興につながる事業数	目標値		8	8	9	9	9	10	S	
	実績値	8	8	9	9	9	10			
宝蔵寺沼ムジナモの状況	目標値		自生状態	自生状態	自生状態	自生状態	自生状態	野生復帰	A	
	実績値	自生状態	自生状態	自生状態	自生状態	自生状態	自生状態			



5 これまでの取り組みと評価（平成30年度～令和3年度）	
(1) 文化財調査の充実	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> ○文化財調査事業 ・埋蔵文化財調査 H30～R3年度：試掘調査 ・上新郷遺跡調査 R1年度：発掘調査、R2・R3年度出土遺物基礎整理 ・H30年度：伝堀越館跡実地調査 ○調査成果公表事業 ・H30～R3年度：羽生学講座・公開講座講演会 	
(2) 適切な文化財の保存	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保存管理事業 ・伝堀越館跡管理 H30～R3年度：高木等剪定・草刈、H30：母屋等の解体 ・勤兵衛松管理 H30～R3年度：枯損防止（薬剤注入）、手入れ（草刈、コモ巻き等）、薬剤散布（高所作業車による薬剤散布） ○文化財啓発活用事業 H30・R1年度：獅子舞見学会 ○企画展等の開催 平成30年度：企画展 2回 入館者数 計11,546人、講演会・展示解説会 1回 参加者数 36人 令和元年度：企画展 2回 入館者数 計9,908人、講演会・展示解説会 1回 参加者数 23人 令和2年度：常設展示「羽生の文学と歴史」入館者数 4,690人、ふるさと講座「利根川と文学 小説・詩・俳句」参加 10名 令和3年度：企画展「めざせ！羽生の考古学博士」入館者数2,749人、展示解説会開催：ふるさと講座「北埼玉の民俗～」参加9名 	
(3) 文化活動への支援	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> ○市民文化祭事業 ・羽生市文化祭及び舞台芸能発表会の開催支援（※R3：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ○文化芸術振興審議会 ・文化芸術の振興についての調査及び審議 ○産業文化ホール指定管理者による自主事業の実施 ・R1年度：自主事業10本、R2年度：自主事業3本、R3年度：自主事業10本（エンターテイメント9、ホール開放1） ○吹奏楽フェスティバルの開催 ・R1年度：12団体・1150名 ・R2、3年度：中止 ○吹奏楽マスタークリニック（市内3中学校吹奏楽部へのプロによる指導）の実施 ・R1年度：101名 ・R2年度：中止 ・R3年度：67名（西中学校25名・南中学校23名・東中学校19名） ○大ホールひとりじめ ・参加者数 R1年度：計58団体 185名、R2年度：中止、R3年度：計65団体 135名 ○先人の功績を顕彰するとともに、詩を通して市民文化の向上、詩のまちづくりを目指す。「ふるさと」全国募集の隔年実施。 ・H29募集H30表彰 599篇、R1募集R2表彰 425篇、R2事業終了 ・市内小中学生募集の毎年実施（H30募集1,845篇、R1募集1,674篇、R2募集2,187篇、R3募集1,798篇） 	
文化施設の充実	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> ○産業文化ホール指定管理の継続 指定管理の期間 H29年4月1日からR4年3月31日まで（5年間） ※R3年度は5年目 次期産業文化ホール指定管理者の選定、新規締結 指定管理の期間 R4年4月1日からR9年3月31日まで（5年間） ○産業文化ホールの基盤整備（工事、修繕） ・R1年度：空調監視装置定期部品交換修繕、ホールインカム修繕、産業文化ホール・図書館共同駐車場整備修繕 ・R2年度：空調設備改修工事、受変電設備改修工事 ・R3年度：中央監視室全熱交換機交換修繕、図書館共同駐車場整備 	
(5) ムジナモの育成と自生地の活用	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> ○宝蔵寺沼ムジナモ自生地植生回復事業 ・自生地の環境整備 H30～R3年度：草刈り及び採食動物の捕獲 ・岩瀬増殖施設の管理 H30・R1年度 自生地のムジナモが安定した自生状態のため岩瀬増殖施設の閉鎖 R2年度 ・各種協力機関との連携 ムジナモ保存検討委員会、羽生市ムジナモ保存会、さいたま水族館 ・啓発活動の推進 H30～R3年度：自生地見学会の開催 ・羽生のムジナモ発見100周年記念事業 R3年度 	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策（令和4年度～令和6年度）			
令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1) 文化財調査の充実			
<ul style="list-style-type: none"> ○文化財調査事業 ・包蔵地及び大規模開発の試掘調査 ・伝堀越館跡の確認調査 ○文化財及び未指定文化財の調査 ○調査成果公表事業 ・羽生学講座・公開講座講演会 	同左	同左	
(2) 適切な文化財の保存			
<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保存管理事業 ・伝堀越館跡管理（草刈） ・勤兵衛松管理（枯損防止（薬剤注入）、手入れ（草刈、コモ巻き等）、薬剤散布（高所作業車による薬剤散布） ・上新郷遺跡整理（出土遺物実測・トレース） ○文化財啓発活用事業 ・獅子舞見学会、文化財講座 ○常設展示等の開催 ・春、夏、秋に常設展示を開催予定 ・ふるさと講座、秋の体験講座を開催予定 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保存管理事業 ・伝堀越館跡管理、勤兵衛松管理、手入れ、薬剤散布 ・上新郷遺跡整理 ○文化財啓発活用事業 ・獅子舞見学会、文化財講座 ○企画展等の開催 ・展示内容の充実 	同左	
(3) 文化活動への支援			
<ul style="list-style-type: none"> ○市民文化祭事業等の継続的支援 ○吹奏楽フェスティバルの開催検討 ○自主事業の実施(指定管理者) ・自主事業を開催するにあたり、時期や内容を検討 ・マスタークリニック開催検討及びホール開放事業の継続 ○文化芸術振興審議会 ・文化芸術の振興についての調査及び審議 ○先人の功績を顕彰するとともに、詩を通して市民文化の向上、詩のまちづくりを目指す。 ・「ふるさと」市内小中学生募集の毎年実施 	同左	同左	
(4) 文化施設の充実			
<ul style="list-style-type: none"> ○産業文化ホール指定管理の新規締結（1年目） ○産業文化ホールの基盤整備 計画的に修繕を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業文化ホール指定管理の継続（2年目） ○産業文化ホールの基盤整備 ・計画的に修繕を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業文化ホール指定管理の継続（3年目） ○産業文化ホールの基盤整備 ・計画的に修繕を実施 	
(5) ムジナモの育成と自生地の活用			
<ul style="list-style-type: none"> ○宝蔵寺沼ムジナモ自生地植生回復事業 ・自生地の環境整備として草刈り及び採食動物の捕獲を実施する ○啓発活動の推進 ・自生地見学会を開催する ・埼玉県レッドデータの改編に向けた情報提供 	同左	同左	

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

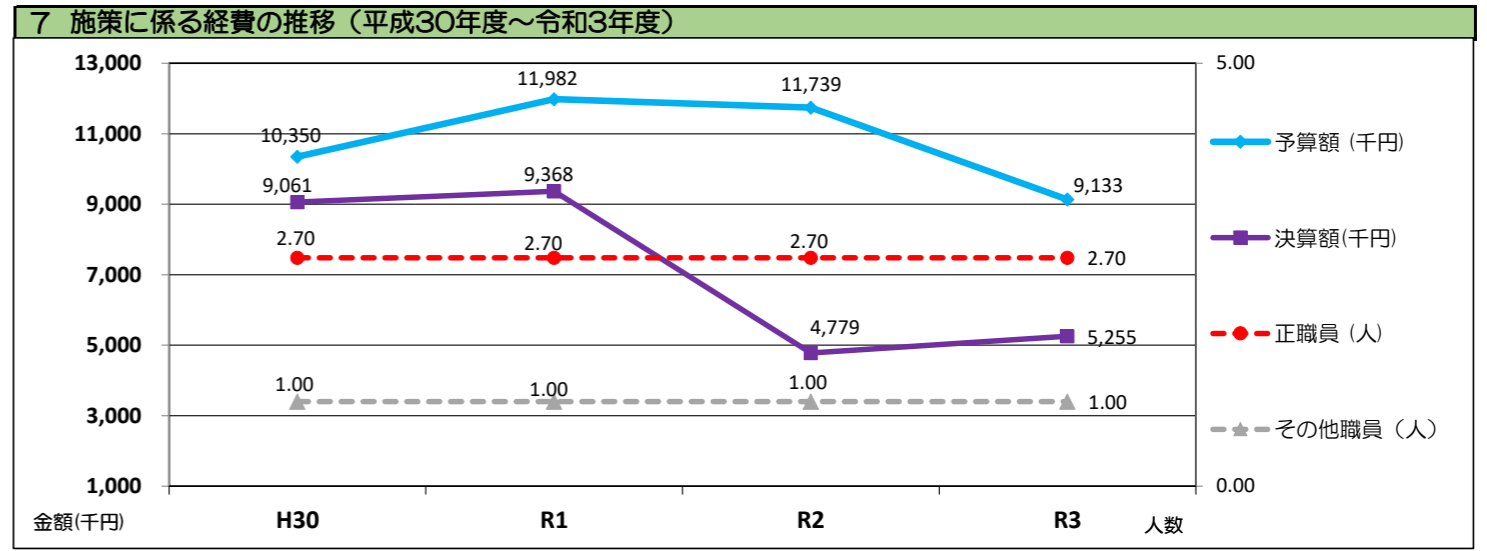
1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	5 人権施策の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	人権推進課
関係課	秘書広報課、社会福祉課、子育て支援課、高齢介護課、学校教育課、生涯学習課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
27,194	5,255	2.70	1.00	21,939	504

3 施策の目的	
全ての人が個人として尊重され、差別されず、一人ひとりの多様性を認め合いながら、共に支え合って生きがいのある人生を送ることができるよう、人権が確立・擁護された差別のない明るい社会を実現します。	

4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
基本的人権が尊重されていると思う割合(%)	目標値		60.5	61.0	61.5	62.0	62.5	63.0	S	
	実績値	(59.5)	70.8	69.2	68.0	55.9	67.9			
人権教育・啓発研修会への参加者(人)	目標値		1,990	2,080	2,180	2,280	2,390	2,500	C	
	実績値	1,902	2,104	2,268	1,568	59	617			
研修会参加者の理解度(%)	目標値		48.1	50.3	52.6	55.0	57.5	60.0	S	
	実績値	46.0	46.8	49.0	49.2	未実施	89.5			



5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)		
(1) 人権教育・啓発事業の充実	評価	C
<p>○さまざまな啓発事業の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権フェスティバル H30年度：羽生市産業文化ホールで開催(1,800人参加) R元年度：行田市産業文化会館で予定したが、台風により中止 R2年度：中止してR3年度に延期(新型コロナウイルス感染拡大防止) R3年度：加須市パストラルかぞで開催(700人参加) ・職場等研修会 H30年度：7回、R元年度：6回、R2年度：1回(新型コロナウイルス感染拡大防止)、R3年度：3回 ・人権教育研修会 H30年度：796人参加、R元年度：356人、R2年度：中止(新型コロナウイルス感染拡大防止)、R3年度：231人 ・人権ポスター・マンガ展 H30年度：市役所・女性センター、公民館(2館)で開催 R元年度：市役所・女性センターで開催 R2・3年度：市役所・女性センター、公民館(2館)で開催 ・人権の花運動 H30年度：2小学校、R元年度：3小学校、R2年度：中止(新型コロナウイルス感染拡大防止)、R3年度：2小学校 		
人権相談体制の充実	評価	B
<p>○人権擁護委員、生活相談員等による人権に関する相談の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権相談：人権擁護委員による人権相談。定例相談 毎月第3火曜日開催、特設相談 年2回開催。法務局(久喜支局)での常駐相談は実施。 ・生活相談：生活相談員による生活相談(随時) ・障がい者差別相談：社会福祉課障がい福祉係による相談(随時) ・いじめ相談：毎週月・水・金(夏休み、冬休み、春休みを除く)(教育相談で対応) 		
(3) 各種人権課題解決に向けた事業の推進	評価	B
<p>○さまざまな人権課題(女性、障がいのある人、子ども、高齢者など)をテーマとする研修会の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別研修会：市内9地区を2つに分けて隔年で実施。(羽生・川俣・井泉・須影・三田ヶ谷・地区)、(新郷・岩瀬・手子林・村君) H30年度：5地区、R元年度：4地区、R2年度：中止(新型コロナウイルス感染拡大防止) 研修の代替として啓発リーフレット「人権について」を9公民館で利用者に配布。1,250枚、R3年度：中止(新型コロナウイルス感染拡大防止) 		
(4) 地域交流等の推進	評価	B
<p>○人権運動団体主催の研修会への参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加回数 H30年度5回、R元年度：4回、R2・3年度：中止(新型コロナウイルス感染拡大防止) <p>○集会所事業として、人権に関する学習会を開催し、地域内外の交流を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所(5施設)の利用状況 H30年度：利用回数828回、利用者数12,791人 R元年度：利用回数803回、利用者数13,099人 R2年度：利用回数366回、利用者数3,526人 R3年度：利用回数371回、利用者数3,531人 		
(5)	評価	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 人権教育・啓発事業の充実	<p>○差別意識の解消に向け、引き続き各種研修会を実施する。また、幅広い年齢層・職種の方に参加を呼び掛け、参加者の拡大を図る。</p> <p>○人権意識調査、羽生市人権施策推進基本方針等の内容を事業に反映する。</p> <p>○HPIにおける情報発信・啓発を充実する。</p> <p>○羽生市を会場に「北埼玉地区人権フェスティバル」を開催し、啓発事業の充実を図る。</p> <p>○人権課題についての啓発リーフレットを作成し、研修会等のイベントで市民に配布する。</p>	<p>○前年度事業や手法を検証し改善を図っていく。</p>	<p>○前年度事業や手法を検証し改善を図っていく。</p>
(2) 人権相談体制の充実	<p>○人権擁護委員の資質向上のため、法務局・県等主催の研修会への積極的な参加を促す。</p>	同左	同左
(3) 各種人権課題解決に向けた事業の推進	<p>○インターネットによる人権侵害、LGBT、外国人の人権の啓発等、新たな人権課題にも対応した研修会の実施について検討する。</p> <p>○北埼玉地区同和対策協議会が実施するインターネットモニタリング事業において、差別事象の現状把握をし、啓発事業等に生かす。</p> <p>○オンラインによる研修の充実を図り、人権課題解決に向けた環境を構築する。</p> <p>○人権課題について啓発リーフレットを作成し、研修会等のイベントで市民に配布する。</p>	同左	同左
(4) 地域交流等の推進	<p>○人権運動団体と連携を深めるため、人権運動団体主催の研修会に引き続き参加する。</p> <p>○部落差別の解消をめざし、参加者の人権意識の高揚、学力の向上、教養を深める等のための講座や事業を実施し、地域内外の交流を進めていく。魅力ある講座となるよう地域の指導者を講師として招へいする。</p>	同左	同左
(5)			

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

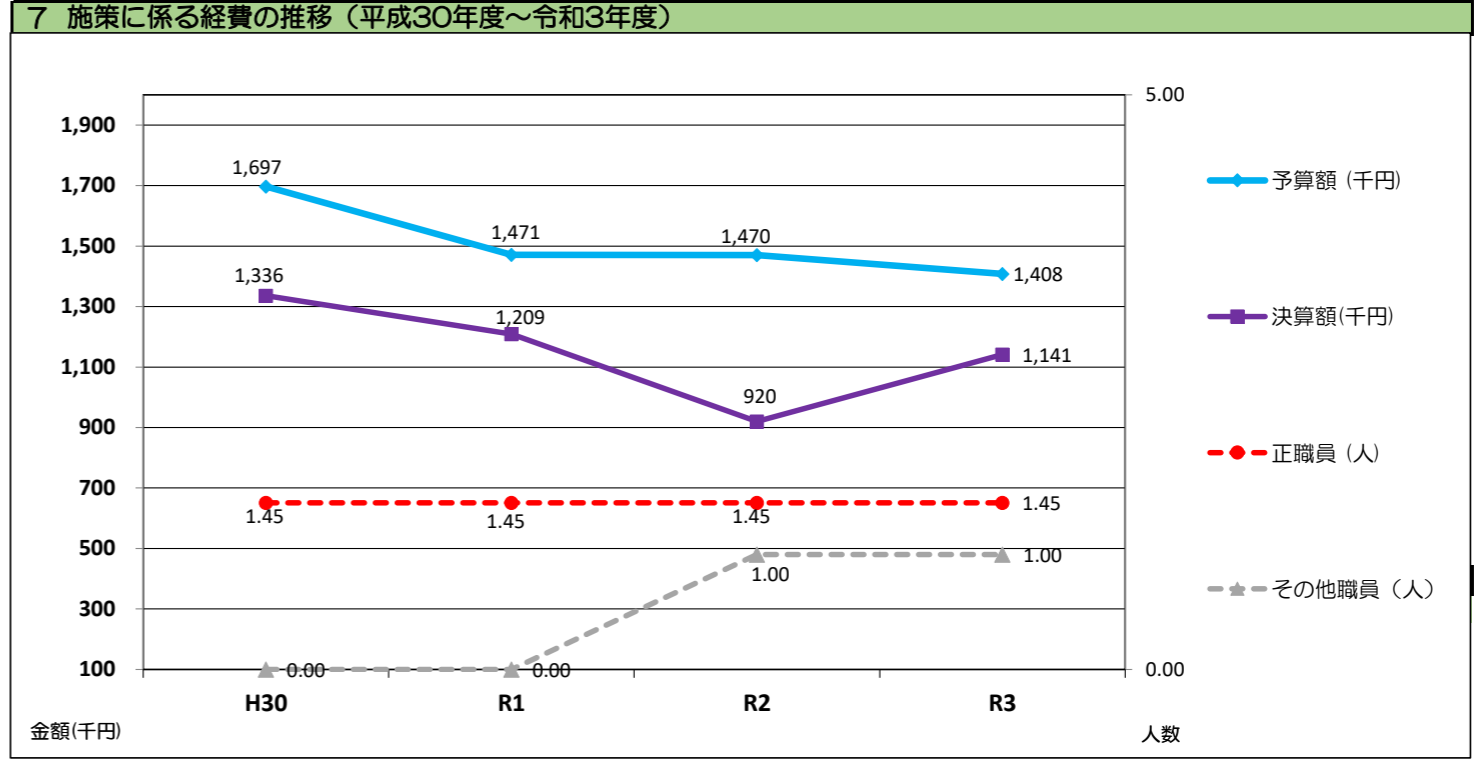
1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	6 男女共同参画の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	人権推進課
関係課	商工課、社会福祉課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
13,597	1,141	1.45	1.00	12,456	252

3 施策の目的
女性も男性も一人の人間として尊重され、社会の対等な構成員として自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参加する機会が確保され、持っている能力を十分に発揮できているいきいきとした社会の実現を目指します。

4 前期基本計画（平成30年度～令和4年度）に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
固定的役割分担に賛同しない人の割合(%)	目標値		63.7	64.9	66.1	67.4	68.7	70.0	S	
	実績値	(61.3)	68.4	69.9	77.8	77.8	76.6			
「慣習・しきたり・社会通念などの分野」で男女の地位が平等であると思う割合(%)	目標値		24.6	24.9	25.3	25.6	26.0	26.3	C	
	実績値	(23.9)	16.3	15.9	15.9	25.8	12.1			
審議会等における女性委員の割合(%)	目標値		23.6	24.7	25.9	27.2	28.6	30.0	S	
	実績値	24.3	23.6	26.0	28.6	32.3	31.3			
啓発研修会等への参加者(延べ人数)(人)	目標値		510	510	530	550	580	610	C	
	実績値	592	991	910	979	205	293			
研修会参加者の理解度(%)	目標値		89.6	91.5	92.0	92.6	93.3	94.0	B	
	実績値	90.5	91.9	92.2	95.0	92.5	80.6			



5 これまでの取り組みと評価（平成30年度～令和3年度）	
(1) 男女共同参画意識の啓発	評価 B
○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため職員研修会等の啓発講座が開催できなかったが、パネル展示による男女共同参画の啓発や参加人数を抑え講座を積極的に行った。 ①啓発講座の開催8回 ②男女共同参画パネル展4回 ③出前講座2カ所など ○審議会等における女性委員の登用状況調査の実施（32.3%前年度28.6%）	
(2) 相談・支援機能の充実	評価 B
ODV被害者の早期発見のための取組（福祉担当職員（虐待担当職員（子育て・高齢・社会福祉）、民生委員・児童委員等への研修会を実施） ODV防止に係る広報・意識啓発の取組（パネル展の実施3回） ODV被害者への支援（パープルカフェの実施5回）	
(3) 女性活躍の支援	評価 B
○多様な働き方の支援（再就職セミナー、資格取得講座の実施） ○ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発（啓発講座、パネル展の実施）	
(4)	評価
(5)	評価

8 課題解決に向けた取組と改善策（令和4年度～令和6年度）			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 男女共同参画意識の啓発	○啓発講座の実施 ○固定的な性別役割分担意識の解消に向け、幅広い年齢層の方々へ啓発活動を行い、意識の向上に努める。 ・公民館への出前講座開催 ・市内公共施設での男女共同参画パネル展の実施 ○市HPを活用した啓発の充実	同左	同左
(2) 相談・支援機能の充実	○女性相談業務の充実 ○関係各課、警察、県との連携の充実 ODV防止研修会の実施（教育関係者等）	同左	同左
(3) 女性活躍の支援	○多様な働き方の支援（再就職セミナー、資格取得講座の実施） ○ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発（啓発講座、パネル展の実施）	同左	同左
(4)			
(5)			